

[地域振興]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H24 年度計画額（単位：千円）		H24 年度必要人工	
			H24 年度計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	広報・広聴事業	B	13,265	3,547	0.6	0.2
2	地域情報化推進事業	B	1,662	347	0.4	0
3	コミュニティバス運行事業	A	46,546	8,210	0.5	0.4
4	まちづくり活動推進事業	A	9,887	6,751	1.5	0
5	活動団体支援事業	B	9,148	0	0.6	0.1
6	男女共同参画社会推進事業	B	1,105	657	0.5	0.1
7	勤労者支援事業	B	4,214	3,000	0.2	0
8	商工業振興事業	B	78,442	42,000	0.4	0
9	国際交流事業	B	5,411	1,282	0.3	0.2
合 計			169,680	65,794	5.0	1.0

■特記事項

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	1
事業名	広報・広聴事業		
総合計画の 体系	大分類	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	小分類	(1)	参画と協働のまちづくりの推進と住民自治の確立
目的	町の行政施策や行事、行政サービスなどの情報を、分かりやすい内容で住民の方々の自宅に届けると共に、住民相互の情報発信をサポートする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報おおぐち編集及び発行 ・ ミニ町勢要覧編集及び発行 ・ 町ホームページ管理 ・ 「何でも言っちゃよ」の受付・事務処理 		
現在における 経過又は課題	<p>町ホームページ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行CMSシステムの更新（サーバーの老朽化に伴いメンテナンス部品が提供不能となるため、システム全体の更新が不可欠となっている。） <p>広報おおぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 紙面のマンネリ化や長期的に継続している記事等があるため、住民が読んでいただけるよう整理が必要である。 		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	<p>町ホームページ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新CMSシステムへのデータ移行を円滑に行い、各部署の担当職員による、より早く分かりやすい情報発信を可能にする。 <p>広報おおぐち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報編集委員、ZOOM との打合せにより紙面の工夫、整理を行う。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4～	町ホームページ管理 新CMSシステムへのデータ移行 新CMSシステムによるホームページ作成研修の実施
6～	新CMSシステム稼働
	広報おおぐち
	毎月 編集・校正
	随時 広報編集委員、ZOOM との打合せ

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	8,988	10,902	13,265
(内特定財源)		千円	2,592	3,172	3,547
人工	職員	人工	0.6	0.5	0.6
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	0.8	0.7	0.8

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ふるさとづくり基金繰入金	3,047	広報編集等協働委託料
ホームページバナー広告料収入	500	
合計	3,547	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	電算システム開発委託料 ホームページシステム	2,052	2,052	ホームページシステムの更新
14	使用料 ホームページシステム	1,483	1,483	ホームページシステムの更新 (サーバー買取りからクラウドへ変更)
13	広報編集事業協働委託料	3,047	375	広報編集作業の場所移行のため作業時間が増加したため。

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

町ホームページは、新 CMS システムへの移行を行い 6 月から運用を開始した。また、移行に先立ち各部署の担当職員に操作研修を行った。

広報おおぐちについては、NPO 登録団体 ZOOM により、取材、写真撮影などを行い住民目線での紙面づくりに努めた。しかし、紙面の工夫・整理、特集記事の実施などは検討にとどまった。

■ 評価

町ホームページについては、新 CMS に移行したことにより掲載方法が簡単になり、より情報を発信しやすい環境が整ったとともに年間にかかるコストが削減された。今後は、各課の職員がタイムリーな情報を分かりやすく発信していくことが重要となる。

広報おおぐちについては、新しいことにチャレンジするつもりで、住民目線での紙面づくりとして、ZOOM 編集による特集記事を組むようにしていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	2
事業名	地域情報化推進事業		
総合計画の 体系	大分類	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	小分類	(1)	参画と協働のまちづくりの推進と住民自治の確立
目的	「サイバータウンプラン」に基づき整備した町内の情報インフラ（ブロードバンド環境等）を有効活用し、「元気なまちおおぐち」を積極的に情報発信すると共に、インターネットを介した多様なコミュニティ形成支援を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「あんしん・安全ねっと」運営管理 ・「Cyber Community おおぐち」運営管理 ・「デジタル・ミュージアム」運営管理 		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ●課題であった「Cyber Community おおぐち」の運営改善（情報インフラを活用した「住民参加型」の情報発信サイト）の実現に向け、特定非営利活動法人「憩いの四季」と協働委託契約を結び、現在の大口町の魅力・記録の収集・発信を目標とする協働事業を開始した。 ●「サイバータウンプラン」に基づき整備・活用してきたライブカメラ等の各種マルチメディア機器やソフトウェアの型式が古くなってきていることから、更新等の検討が必要になっている。 		
平成 24 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ●「憩いの四季」との協働事業により町制 50 周年を迎える大口町の元気な様子を記録・発信する。 <ul style="list-style-type: none"> ○住民目線の親しみやすい写真・映像を収集・発信 <ul style="list-style-type: none"> 【目標】動画配信…50 周年冠事業 8 事業以上 写真やビデオ撮影に長けた（好きな）方々が、これまでに培ってきた技術・経験を活かし楽しみながら撮影してもらう。（動画配信は、著作権・肖像権を侵さない範囲に限定。） ○大口町の魅力を記録に残し後世につなぐ <ul style="list-style-type: none"> 【目標】フォトギャラリー…50 周年冠事業を中心に 30 事業以上 町制 50 周年を迎えた大口町の魅力発信だけでなく、記録として残し後世へつなぐ。また、ホームページだけでなく、憩いの四季ギャラリーで展示し、人々が憩い語らえる場所をつくる。 ※動画配信方法については、既存機器にこだわらず、ユーチューブやユーストリームなどの新しい技術と比較検討し、配信方法を変更する際は、データ移行等の準備を逐次開始する。 ※憩いの四季による写真・ビデオ撮影を楽しむ仲間づくり、撮影技術を伝承する教室の開催などを期待する（働きかける）とともに、動画・画像配信サイトの運営に興味を持つ団体・グループがあれば、共同運営もしくは任せていく方向で検討する。 ●近年の目まぐるしい IT の進展状況を踏まえ、現行マルチメディア機器やソフトウェアの活用方法や更新等について再検討する。 <ul style="list-style-type: none"> 【目標】利用状況の解析等により各種地域情報サービスの維持、見直し（更新）、廃止等を決定 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4～	<ul style="list-style-type: none"> ・記録収集及び配信イベントを「憩いの四季」と共同して計画 ※以降、計画に従い、ビデオ撮影・写真撮影、編集、配信等を協働実施 ・現行地域情報サービス（マルチメディア機器やソフトウェア）の活用状況の解析・評価

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	2,143	2,055	1,662
(内特定財源)		千円	0	0	347
人工	職員	人工	0.6	0.4	0.4
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.6	0.4	0.4

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ふるさとづくり基金繰入金	347	動画配信事業協働委託料
合計	347	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	委託料(コミバス時刻表検索)	0	△570	コミュニティバス運行事業に科目変更
13	動画配信事業協働委託料	347	347	(特) 憩いの四季との協働事業

■特記事項

「コミュニティバス時刻表検索システム」の運営・保守業務は、事務の円滑化・効率化を図り、「コミュニティバス運行事業」の業務に変更する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

「憩いの四季」との協働契約により、動画配信を50周年冠事業、その他事業あわせて72件、写真、動画記録を49件実施した。

マルチメディア機器については、利用状況を整理し、南保育園ライブカメラを廃止した。

■ 評価

動画配信、写真・動画記録は、「憩いの四季」との協働により概ね実施できているので、引き続き配信、記録を行っていくこととする。

マルチメディア機器については、ライブカメラを1台廃止した。今後は利用状況とともに機器の老朽化を考慮した検討を行う必要がある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	3
事業名	コミュニティバス運行事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	公共交通がない本町に「暮らしの足」を確保する。 良好な生活環境（暮らしの足）を提供し、まちの活力に繋げる。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通推進会議事務局 ・ 運行契約事務 ・ 企業バス利用に関する協定事務 ・ 有料広告募集事務 ・ 回数券販売事務 ・ バス利用案内 ・ 事故処理対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金申請事務 ・ 道路占用許可申請事務 ・ 関係機関対応 ・ ダイヤ編成事務 ・ 利用者数等のデータ管理 ・ 運行情報提供 ・ 視察対応 		
現在における 経過又は課題	<p>■乗車数における課題</p> <p>【日中便・利用者が少ない順】 1. 南部 2. 中部 3. 基幹 4. 北部</p> <p>○南部ルート・・・平成21年10月のダイヤ改正で乗客が減少している。平成20年の水準に戻す必要がある。</p> <p>○中部ルート・・・徐々に乗客数は増えているが、ほぼ横ばいである。</p> <p>○基幹ルート・・・平成20年の8月頃から乗客が減っている。平成20年位の水準に戻す必要がある。おそらく便数が影響している。</p> <p>○北部ルート・・・ほぼ横ばい。増加させるには大きな変更が必要である。</p> <p>【通勤通学便・利用者が少ない順】 1. 基幹 2. 北部 3. 中部 4. 南部</p> <p>○基幹ルート・・・H19年以降減少している。H22年8月以降増加したが利用者が少ない。</p> <p>○北部ルート・・・最近減少傾向である。協定企業の利用者が減っているためと考えられる。</p> <p>○中部ルート・・・利用者数は横ばいだが、バスの定員が不足している。</p> <p>○南部ルート・・・利用者は増加していたが最近横ばいである。</p> <p>■住民満足度を高める方法の検討</p>		
平成24年度の 目標又は 改善策	<p>■乗車数を増やす取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中便（南部ルート・中部ルート）のルート及びダイヤの見直しを行う。 ・ 通勤通学（基幹ルート・北部ルート）の新規協定を締結または利用者を確保する。 <p>■利用者の満足度を高める取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートによるニーズの把握に努める。 <p>■バスをみんなで支えることが出来る仕組みをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民参画の仕組みづくりを団体と協働で考え実行する。 ・ バスをより良くしようと一緒に考える団体へ繋げる。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	
5	協働団体と打合せ開始・アンケート作成
6	アンケート実施
7	アンケートまとめ・ダイヤ案の作成
8	ダイヤ案の検討
9	ダイヤ案の決定 ・地域公共交通会議の開催
10	
11	ダイヤ改正
12	ダイヤ改正後アンケート実施
1	アンケートまとめ
2	
3	

■3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度年間乗客 140,000 人 ・乗車数データ管理等の協働委託 ・運行便数の増加 					
項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標
乗客数（人）	117,018	117,380	120,000	135,000	137,500	140,000
運賃（円）	12,788,000	12,763,700	13,274,248	13,539,732	13,810,526	14,086,736

■2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを支える団体と協働で町民の要望を調査 ・
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを支える団体と協働で利用者満足度を向上させる取り組みを実施 ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	43,487	46,065	46,546
(内特定財源)		千円	9,378	8,080	8,210
人工	職員	人工	0.7	0.6	0.5
	臨時職員	人工	0.4	0.4	0.4
	計	人工	1.1	1.0	0.9

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
市町村振興事業費補助金	750	愛知県より
コミュニティバス運行支援収入	5,160	協定締結企業より
コミュニティバス広告料収入	2,000	バス停・バス車内・ラッピング広告収入
協働委託料	300	
合計	8,210	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	委託料	1,185	△675	バス停製作費(科目追加) 補修が必要なバス停の再製作
	委託料	570	570	時刻検索システム委託料(科目追加) 地域情報化から組替
	印刷製本費	782	252	時刻表チラシ 530,000 円 【増加分】回数券印刷 252,000 円
	委託料	300	300	バスを支える仕組み創り協働委託料

■特記事項

バス停の老朽化がすすんでおり、老朽化がひどいバス停を再作成する。
回数券の在庫がなくなるため増刷をする。
時刻表検索システムを地域情報化から組み替えた。
アンケート等を協働で実施する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

・乗車数を増やす取り組み

広報おおぐちへバスの利用促進の記事を連載した。また、大口町NPO登録団体「町民活動まかせてネット」及びコミュニティバスサポート隊の協力によりイベントの際にバスを利用していただくよう広報を実施した。

・利用者の満足度を高める取り組み

まかせてネット及びコミュニティバスサポート隊が、ふれあいまつりで約600人の方にアンケートを実施した。「バスをもっとかわいく目立つように」「バスを使ったイベントを企画してほしい」という声に対し、バス車内への装飾や、バスで行くイベントをコミュニティバスサポート隊が企画した。

・バスをみんなで支えることができる仕組みをつくる

大口町NPO登録団体「町民活動まかせてネット」と協働で、広報おおぐち7月号にてコミュニティバス応援ボランティアを募集した。賛同者の皆さんと24年度中に9回の会議を実施して、コミュニティバスをより使いやすくする企画を立案して実施した。

■ 評価

コミュニティバスの継続運行のために、コミュニティバスサポート隊との協働事業で利用者の声を聴くなどのソフト面強化を図るとともに、ダイヤ・路線・バス停位置の改善をしていく必要がある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	4
事業名	まちづくり活動推進事業		
総合計画の 体系	大分類	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	小分類	(1)	参画と協働のまちづくりの推進と住民自治の確立
目的	活動団体、行政が共に育ち合い、まちづくり活動を活性化させる。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり事業 ・まちづくり道具箱整備事業 ・町民活動センターの整備 ・NPO活動促進委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・やろ舞い大祭・ふれあいまつりの開催 ・ ・ ・ 		
現在における 経過又は課題	<p>●協働のルールづくり 活動団体と行政各課との協働事業が活発に行われている一方、協働に至った経緯によりそれぞれの関わり方は様々な状況である。住民ニーズや団体の求めるもの等も変わってきていること、また今後は、地域との連携も必要になってくることを鑑み、よりよい協働を進めるためのルールを町全体でイメージする必要がある。</p> <p>●元気なまちづくり助成事業、協働委託事業等報告会の開催方法の検討 事業報告を行うだけでなく、様々な事業に関わるメンバーが情報交換できる場であると共に、今後まちづくりに関わる可能性のある人、関わってほしい人たちとの交流の場を創造する必要がある。</p> <p>●まちづくり活動の拠点となる「町民活動センター」の充実と運営母体の組織力強化 「町民活動センター」のコンセプトは、『出会い・ふれあいの場』『つながりの場』『活動サポートの場』である。平成21年度の稼働から3年が経過し、利用団体数の増加と共に活動サポートの場としての機能は、一定の効果が見られるようになってきた。今後は、まちづくり活動の拠点となる『つながりの場』として継続運営していく必要がある。 また、継続運営のためには、中間支援組織である運営母体の組織力強化と法人格取得は喫緊の課題である。</p>		
平成24年度の 目標又は 改善策	<p>●平成23年度に行った『みんなで考えよう「協働の作法」意見交換会』を踏まえ、住民側（団体側）のルールづくりを行う。</p> <p>●新しい地域自治組織のしくみの実践に向け、活動団体と地域とが連携するためのきっかけづくりを行う。 中間支援団体とともに交流会等を開催し、活動団体と地域とが無理なく自然に集うことのできる事業を企画・実施する。</p> <p>●町民活動センターの運営に関わるスタッフ、団体を対象とした研修会等の開催と中間支援団体の育成、組織化を図る。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
	●町民活動センターの整備
H23	H21～H23の振り返りとH24計画
H24.04～	計画事業開始（随時） ※情報発信、相談会等
07～	運営母体に組織力強化を促す研修 活動センターを支える団体の研修
10～	運営母体の法人化に向けた準備
H25.02	運営母体のNPO法人設立総会
03	設立認証申請
07	NPO法人設立

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・団体も行政も共に協働を理解した上で事業展開できるようになり、まちの限りある資源を循環できるようにする。 ・町民活動センターを拠点に個々の団体がつながり合い、交流や連携が生まれるようにする。 ・行政と団体の連携・協働に加え、活動団体と地域の交流・連携も実現できるようにする。 					
項目（単位）	H22計画	H22実績	H23計画	H24目標	H25目標	H26目標
協働のルール（検討の対象）	行政	行政	行政&団体	団体	町全体	
中間支援団体の法人化					1	

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・業務棚卸しを行い、行政からの募集・提案による協働委託事業を実施する。 ・活動団体を支援する様々な制度が活かされたものになるよう、活動団体や中間支援組織と共にしくみを再検討する。
H26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり事業や行政からの協働委託事業により、団体活動が活発になり、活動センターをより効果的に活用するようになる。 ・一つの活動団体として、地域（地区）も活動センターで行われる事業等に参加できるようになる。

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	12,326	8,075	9,887
(内特定財源)		千円	10,019	4,889	6,751
人工	職員	人工	1.5	1.6	1.5
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0
	計	人工	1.6	1.7	1.5

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ふるさとづくり基金	1,000	元気なまちづくり助成事業
ふるさとづくり基金	5,751	協働委託事業
合計	6,751	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	町民活動センター活性化事業 協働委託料	4,001	1,862	専従スタッフ(コーディネーター)を配属

■特記事項

【町民活動センター活性化事業】

当初、活動団体の協力により管理運営していたが、平成 22 年度より専従スタッフを配属した。利用しやすい活動センターとなり、登録団体や利用者も大幅に増加した。併せて、アドバイザー事業として、個別相談会を開催。相談の多い事項について、平成 23 年度より集合講座を開催するなど、センターのソフト機能充実と共に活動団体のスキルアップにもつながる事業として展開している。専従スタッフにアドバイス等を求めて来館する利用者や利用団体が増えており、『活動サポートの場』『つながりの場』の核を担うコーディネーターの役割が果たせられるようになってきた現れである。

まちづくりの拠点である『活動センター』に、団体や人、情報をつなぐコーディネーターは必須であることから、専従スタッフを配属し、更なる情報の集約と発信をするとともに、活動者及び活動団体向けのスキルアップ講座等を開催しながら、活動団体と地域、行政をつなぐ機能を充実させる。

また、委託事業等の拡充も視野に入れ、平成 26 年度を目標に活動センターを管理運営する中間支援団体の組織力強化を図る。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 協働のルールづくりは遅滞しているが、懸念事項の一つであった元気なまちづくり助成事業、協働委託事業等報告会の開催方法を再検討し、まちづくり協働フォーラムとして、事業報告会と交流会を実施した。
- 市民活動団体と地域とが連携できるためのきっかけづくりとして、これまで活動センター利用団体代表者会として実施してきた情報交換の場を誰でも参加できる「まちカフェ♪」として10月に実施した。以降、毎月1回の開催として、お茶を飲みながら交流できる場を創設した。
- 市民活動団体、地域団体のスキルアップ講座として、集合講座を実施
組織の運営に関わるもの、また活動者個人のスキルアップも視野に入れたファシリテーション講座、情報発信のチカラを身につける広報講座を実施した。アドバイザー相談会において相談件数の多い見積書の作成についても集合講座として開催した。

■ 評価

- ここ数年来の懸念事項であった協働委託事業等報告会の開催方法を再検討し、まちづくり協働フォーラムにおいて、事業報告会と交流会の二本立てで開催した。
時間の制約もあり、フォーラムの中で紹介できる事例数は限りがあったが、様々なスタイルの協働があることを学ぶことができた。また、関係団体の協力を得て、平成24年度に実施された元気なまちづくり事業、元気なまちづくり助成事業、協働委託事業の全事業を事例集としてまとめ、フォーラムの配布資料とした。これは、本町の協働事業を広く知らせると共に、関係する団体、行政にとっては、互いの事業内容を知るきっかけになったと考える。
今後、市民活動団体、地域活動団体、行政、企業が一堂に会する活動発表の場として、中間支援組織を中心に事例紹介、報告会等シンポジウム形式による『まちづくり協働フォーラム』と、実行委員会を中心に参加者の連携で創る事業でもあり、イベントへの参加を通して活動紹介する『ふれあいまつり』が協働をテーマにした本町の二大事業となることがイメージできる。
- 『出会い・ふれあいの場』『つながりの場』として実施している「まちカフェ♪」においては、気軽に意見交換するなかで、まちづくりの活性化に向けたアイデア等も出され、少しずつ広がりが感じられる。
平成25年度は、カフェで出されたアイデア等をテーマとして、多様な主体が意見交換できる場づくりについて検討するとともに、平成21年度より実施した「行政と団体のテーマ別意見交換会」のあり方も再検討することとした。
- 『活動サポートの場』としての町民活動センターでは、機器等の貸し出しだけでなく、市民活動団体、地域活動団体の活動を支える事業として、専門家によるアドバイザー相談会を実施している。個別相談においては、主に会計に関する相談が多いことから、引き続き集合講座として、団体の会計の基礎講座等を実施する。
今後も、団体運営や新たに活動を始めようとする人を対象としたサポート事業として、アドバイザー相談会やスキルアップ講座を引き続き開催する。
- 町内唯一の中間支援組織として活動団体のサポート業務並びに安定した活動センターの管理運営を担うNPO団体の法人格取得については、スケジュールが具体化した。引き続き、支援を行う。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	5
事業名	活動団体支援事業		
総合計画の 体系	大分類	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	小分類	(2)	地域に根付いた多様な住民活動の促進
目的	<p>地域振興団体（子ども会連絡協議会・老人クラブ連合会・さくらメイト）の自主性と活動理念を尊重し、まちづくりや地域づくりに寄与する団体活動を支援する。</p> <p>・老人福祉センターのコンセプトに基づき、施設の活性化を図る。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター管理運営業務 ・老人クラブ事務 ・子ども会事務 ・さくらメイト事務 		
現在における経過又は課題	<p>老人福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「憩いの湯」や「さくら屋」等、サービス提供に不可欠な各種設備の老朽化への対応 <p>※「(特) 憩いの四季」は事務局体制の強化（長期的スパンで指定管理を見据えた組織の自立性・継続性の確保）が課題となっている。</p> <p>子ども会</p> <p>役員が1年交代のため自発的事業がなく「こなし作業」になっている。</p>		
平成24年度の目標又は改善策	<p>老人福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館施設の耐震改修工事と調整を図りながら、憩いの湯（ボイラーやろ過機、配管等設備の更新、浴室内のタイル張り替え等）やさくら屋（冷凍冷蔵庫や食洗器の更新等）の改修工事や設備更新について、緊急性の高いものから整理・計画する。 <p>子ども会</p> <p>今まで行っている事業を減少させず継続開催できるようサポートする。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4～	老人福祉センター ・施設改修及び設備更新の計画書作成

□3年間の目標

目標							
	項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・
H26 年度	・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	9,220	9,028	9,148
(内特定財源)		千円	671	0	0
人工	職員	人工	0.6	0.8	0.6
	臨時職員	人工	0	0	0.1
	計	人工	0.6	0.8	0.7

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

○老人福祉センター「憩いの四季」の指定管理委託料の考え方

老人福祉センターの有する次の施設機能について、利用者に安全・安心で快適な施設サービスを提供できる最小限の維持管理経費を積算し予算計上している。

- ・「憩いの湯」の維持管理 [内訳：真空式温水ヒーター等保守点検料、配管洗浄委託料、DPD 試薬 No.1 購入費、水質検査委託料、次亜塩素酸ソーダ等水質管理、集毛器パッキン等風呂用消耗品]
- ・「憩い処さくら屋」の維持管理 [内訳：食品衛生協会等衛生費、玄関マット等リース料、製氷機等保守点検委託料、食器洗浄機洗剤等消耗品、レンジフード清掃費]
- ・「憩いの湯」「憩い処さくら屋」を除く施設全体(貸室やトイレ等)の維持管理 [内訳：事務長費用弁償、傷害保険等保険料、通信費、NHK受信料、事務用消耗品、コピー機リース料、床清掃、玄関マット等リース料、施設用消耗品、健康遊具公園殺虫剤散布]

※平成 25 年度の「大口町公の施設指定管理者評価委員会」による中間評価に向け、同委員会からも指摘を受けている検討課題(スタッフの高齢化に対応した組織強化や収入増加策等)について、憩いの四季から提示されている計画が実施・達成できるようサポートするとともに、その成果によっては、新たな解決策を共に考え、実施をサポートする。これに伴い、スタッフの費用弁償額の見直し等、必要な改善が図られることから、施設管理運営に係る全体経費を再検証し、適正な指定管理委託料を提案していく。

■目標又は改善策に対する取組内容

- 老朽化による不具合が生じたため、9月に補正予算を組んで、憩いの湯（ボイラーやろ過機の故障、漏水、浴室内のタイル張り替え等）の修繕工事を行った。
- 子ども会の行事は、これまで実施してきた行事数を減少させることなく実施できた。

■評価

- 定期点検を実施し、設備の補修個所の把握に努めて、早期に修繕に取り掛かれるようにしている。「憩いの湯」全体を視野に入れた改修計画を立て、計画的に改修を実施して、緊急に修繕工事をする事のないように努めたい。
- 子ども会連絡協議会の役員の方々に感謝している。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	6
事業名	男女共同参画社会推進事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
目的	男女が共に尊重し合い、協力し合い、個を尊重できるまちを目指し、「男女が共に生き共に輝く まちづくり」に取り組む。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発事業協働事業 ・第三次男女共同参画プラン策定 ・男女共同参画プラン進捗状況調査 ・各種調査 		
現在における 経過又は課題	<p>男女共同参画社会の実現に向けた地道な啓発をしているが、啓発の効果測定は困難である。</p> <p>また、時代が変わり男女共同参画に対する考え方も変わってきているため、現在に合ったプランの策定が必要である。</p>		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	<p>現在の時代に合った「第三次男女共同参画プラン」を策定する。</p> <p>おおぐち男女共同参画懇話会と協働で、おおぐち男女共同参画プランの基本目標「男女が共に生き 共に輝く まちづくり」を実現するため、誰にも分りやすく興味を持っていただける内容で男女共同参画に関する啓発を実施していく。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	推進会議①（年度計画） △Time 啓発冊子作成【協働】
5	講演会（西田小夜子氏）アンケート実施【協働】
6	研修Ⅰ（講演・アンケート実施）【協働】
7	～アンケート集計～
8	推進会議②（アンケート結果を基に素案の検討）
9	～計画素案作成～
10	～計画素案作成～
11	推進会議③（計画素案の作成・修正）
12	計画素案の公表（広報1月号）、修正 研修Ⅱ（計画素案を基に講演・意見募集）【協働】
1	推進会議④（計画修正案作成）
2	推進会議⑤（計画案決定）
3	プラン印刷

□3年間の目標

目標							
	項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	353	430	1,105
(内特定財源)		千円	353	400	657
人工	職員	人工	0.3	0.3	0.5
	臨時職員	人工	0.2	0.1	0.1
	計	人工	0.5	0.4	0.6

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ふるさとづくり基金繰入金	657	協働委託料
合計	657	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	印刷製本費	300	300	プラン印刷製本費 A4 24 頁 中とじ 表紙 4 色 本文 2 色
	報償費	148	118	男女共同参画推進会議 (4 回増) 5900 円×5 人×5 回
	協働委託料	100	100	プラン編集委託料 A4 24 頁
	協働委託料	557	157	おおぐち男女共同参画懇話会との協働 事業

■特記事項

平成 25 年 4 月 1 日策定に向けた第三次男女共同参画プランの作成をする。

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・現在の時代に合った「第三次男女共同参画プラン」の策定
おおぐち男女共同参画推進会議で内容を協議し、第三次男女共同参画プランを策定した。
多くの方にとってなじみ易い計画とするため、おおぐち男女共同参画懇話会が作成したさんかくコラムをプランで活用した。
- ・おおぐち男女共同参画懇話会との協働で啓発活動を実施
おおぐち男女共同参画懇話会と協働で、広報おおぐちに多くの方に興味を持っていただける内容の男女共同参画啓発記事「△Time」を連載した。
また、新聞に記事を連載している西田小夜子さんを迎え講演会を実施した。約200名の参加があった。

■評価

成果が見えにくい事業であるが、地道な啓発活動を続ける必要がある。
今後も、「大口町NPO登録団体おおぐち男女共同参画懇話会」と協働で啓発事業を実施していくとともに、おおぐち男女共同参画推進会議で事業の進捗状況を確認していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	7
事業名	勤労者支援事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
目的	町内の住民や勤労者の生活の向上及び福祉増進及び親睦		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤労青少年の日大口町大会開催 ・ 勤労者協議会への補助 ・ 融資の運用資金に充てるための預託事業 ・ 労働関係 		
現在における 経過又は課題	<p>○勤労青少年の日大口町大会は、町内事業所が恒例事業として組み込んでいただけており勤労青少年の支援として寄与しているため継続していきたい。</p> <p>○勤労者協議会のバスツアーは継続して行われ会員の福祉増進に寄与している。一方会員拡大は事業所の入会がないため進んでいない。</p> <p>○預託を行っているが融資実績がない。「勤労者住宅資金」については町民優遇のある内容に制度の見直しを行ったが現在実績がない。</p>		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	<p>○勤労者協議会の事業継続、会員拡大</p> <p>○預託を行っている「勤労者住宅資金」「勤労者等生活資金」の利用実績がないため、制度の啓発を行う。また、有無について協議する。</p> <p>○雇用・労働相談等の情報提供を行う。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	○随時 ・勤労者協議会と協議 ・融資制度・雇用労働相談等の情報の啓発（広報紙、ホームページ掲載）
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

□3年間の目標

項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標
目標	・					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・
H26 年度	・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	4,022	4,324	4,214
(内特定財源)		千円	3,000	3,000	3,000
人工	職員	人工	0.5	0.3	0.2
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.5	0.3	0.2

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
勤労者住宅資金融資預託金回収金	2,000	預託金
勤労者生活資金融資預託金回収金	1,000	預託金
合計	3,000	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 「勤労者住宅資金」については、融資枠を預託金額の 5 倍から 10 倍に変更して、より使いやすい制度になるよう金融機関と協議を行った。
- 雇用・労働相談等の情報提供は、広報おおぐち、広報無線等の手段を利用して適宜行った。

■ 評価

勤労者住宅資金は金融機関と協議が整い、平成 25 年 4 月からの融資枠を 10 倍に変更した。預託金が 200 万円なので 2,000 万円まで融資枠が拡大したことになり、利用者の利便性が図られることになる。平成 24 年度も勤労者生活資金の借り入れ需要はなかったが、制度自体が存在することに意義があるので、制度は継続していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	8
事業名	商工業振興事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
目的	活発な企業活動を支援するため中小企業者に対する助成		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工業振興事業 ・ 融資関係事務 ・ 補助金事務 ・ 商工会補助金事務 		
現在における 経過又は課題	<p>○融資に係る保証料、利子の補助内容、補助率等の見直し 補助要綱の改正、起業家及び新事業への挑戦を支援するため補助要綱の整備を行ったので、活用していただくため周知を行う必要がある。</p> <p>○補助対象融資の期中管理のため完済情報等を愛知県信用保証協会から提供を受けることができる仕組みづくりができた。</p> <p>○商工会会員の減少により県補助金等に影響があるため、町として会員増につながる制度を商工会と一緒に考えていく必要がある。</p>		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	<p>○補助対象融資の完済情報等により補助金の返還事務が確実に行えるようになったため迅速に事務処理を行い期中管理を行う。</p> <p>○近隣 5 市 2 町での創業者支援セミナーの継続開催、経済対策としてマッチング事業等ができないか商工会と協議する。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	（随時） ・完済情報により返還事務 ・認定事務及び補助事務
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

□3年間の目標

項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標
目標	・ ・					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・ ・
H26 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	108,573	101,593	78,442
(内特定財源)		千円	42,001	42,000	42,000
人工	職員	人工	1.0	0.7	0.4
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	1.0	0.7	0.4

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
商工業振興資金融資預託金回収金	40,000	預託金
商工組合中央金庫預託金回収金	2,000	預託金
合計	42,000	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	7-1-1(4)19-2-7 商工業→小規模	4,500	△8,500	商工業振興資金融資臨時助成金交付要綱を継続しないため。 補助対象等を見直すため。
	7-1-1(4)19-2-8 商工業→小規模	2,100	△700	補助対象等を見直すため。
	7-1-1(4)19-2-9 緊急保証→セーフティ	2,000	△12,500	セーフティネット資金の需要が減少しているため。 補助対象等を見直すため。
	7-1-1(4)19-2-10 緊急保証→セーフティ	1,600	△1,300	補助対象等を見直すため。
	7-1-1(4)19-2-11	230	230	町内で創業をするため融資を受ける事業者へ保証料補助をおこなう。
	7-1-1(4)19-2-12	230	230	町内で創業をするため融資を受ける事業者へ利子補助をおこなう。
	7-1-1(4)19-1-3	139	139	補助対象融資の完済情報提供のため愛知県信用保証協会へ事務費負担金が必要になったため。

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 補助対象融資の完済情報等により、補助金の返還事務が確実に行えるようになった。
- 近隣2市2町で創業者支援セミナーを開催した。
- 町内企業の再投資を促進する補助要綱を策定した。
- 雇用のミスマッチの解消と、中小企業者の雇用の安定・事業継続を目的とした「就職フェア」の開催を検討した。

■ 評価

- 補助対象融資の完済情報等を得るため愛知県信用保証協会へ負担金が必要になったが、適時に情報を得ることができ、補助金返還に係る事務の遅延がなくなった。
- 商工会、ハローワーク等の協力を得て、町単独の「就職フェア」を開催することになった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	地域振興課	No.	9
事業名	国際交流事業		
総合計画の 体系	大分類	1	新しい時代を担う次世代を育む
	小分類	(2)	一人ひとりが尊重される社会・地域ぐるみの子育て環境の実現
目的	国際理解を深め、多文化共生のまちづくりを推進する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語教室支援 ・ 国際交流協会への補助 ・ ホームステイ補助金事務 ・ 国際交流事業推進委員会 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 多文化共生啓発事業協働事業 ・ フレンドシップ継承協働事業 ・ 海外派遣協働事業 ・ 海外派遣事業 ・ あいち医療通訳システム
現在における 経過又は課題	多様な価値観を互いに認め合う、誰にとっても暮らしやすい多文化共生社会の実現が課題となっている。		
平成 24 年度 の目標又は 改善策	海外派遣の事前研修、報告会を効果的にするために、企画、運営を以前の参加者が協力して実施する。また、その事業を通じ多文化共生社会の実現に寄与できる次世代の人材育成、組織化に繋げる。		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	
5	第1回国際交流事業推進委員会・第2回国際交流事業推進委員会
6	フレンドシップ継承協働事業（田植え）
7	
8	事前研修・海外派遣
9	報告会準備
10	
11	フレンドシップ継承協働事業（稲刈り） ・ 海外派遣報告会 ・ 第3回国際交流事業推進委員会
12	第4回国際交流事業推進委員会
1	
2	第5回国際交流事業推進委員会
3	

□3年間の目標

目標							
	項目（単位）	H22 計画	H22 実績	H23 計画	H24 目標	H25 目標	H26 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H25 年度	・
H26 年度	・

■事業コスト

		単位	H22 年度決算額	H23 年度当初予算額	H24 年度計画額
事業費		千円	一般 5,397 特別 161	5,612	5,411
(内特定財源)		千円	4,605,004 892,158	1,301 利子・ふるさと基金・ 海外負担金	1,282
人工	職員	人工	0.5	0.4	0.3
	臨時職員	人工	0.1	0.2	0.2
	計	人工	0.6	0.6	0.5

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
国際交流事業基金運用収入	32	
海外派遣参加者負担金	824	87,000*2名 + 65,000*10名
ふるさとづくり基金繰入金	426	協働事業 245+100+81
合計	1,282	

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
	負担金	7	7	あいち医療通訳システム
	協働委託料	81	81	海外派遣の事前研修、報告会準備を海外派遣経験者と協働で行う

■特記事項

あいち医療通訳システムが愛知県内で開始される。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

海外派遣参加者たちから成る「大口町NPO登録団体もやい」と協働で、海外派遣の事前研修の企画、運営をした。また報告会の企画運営のサポートを実施した。参加者にとって、より効果的に事前研修、報告会が行えるように、もやいメンバー各自の経験を元に企画運営を行った。
もやいメンバーは年々増加しており、国際交流をはじめとした様々なイベントで活動をしている。

■ 評価

「大口町NPO登録団体もやい」は若い世代を中心とした団体だが、自主的な活動を継続している。若い世代が活動を通じ、今後の多文化共生に寄与できる人材となるような事業を協働で実施していく必要がある。